

2014.7.22

名古屋市長 河村たかし様

水・森・いのちを守る  
ラブリーアース J a p a n  
事務局 古川善嗣  
名古屋市南区豊 4-22-10  
Tell/Fax 052-821-6463

### 市道弥富相生山線事業への代替案の提案書

名古屋都市計画道路事業 3・5・79 号弥富相生山線については、道路事業計画を変更し、都市計画公園相生山緑地に組み入れて、自然環境を現状のまま保全する代替案を提案します。

1. 上記道路予定地は、都市計画公園緑地に指定されている相生山緑地における生態系豊かな核心的区域の中に位置します。

生物多様性の象徴・基地的存在として位置づけ、本来の生育環境を破壊することなく、まるごと保全を図るべき重要な地点です。孤立した自然を一度破壊すると、回復することは極めて困難です。

2. 市道弥富相生山線の建設事業は、1957 (S. 32) 年の都市計画決定以来半世紀以上、2004 (H. 16) 年の工事着手、2010 (H. 22) 年の工事中断という経緯のもとで、未完成のまま現在に至っています。しかし、いまだ名古屋市民は、未完成がゆえの甚大な被害をこうむっておりません。

3. これまでに道路用地としての土地買収も含め、29 億円がつぎ込まれています。未着工部分の建設には更に 7 億円が必要とされています。

また、「道路」として供用すべく建設された構築物の撤去には 11 億円以上がかかるとされています。

しかし、代替案を採用して工事を中止し、すでに建設された構築物は撤去しないとすれば、大規模な財政支出は避けられます。

4. 名古屋市民とりわけ未来を担うこどもたちにとっては、ヒメボタルをはじめとする貴重な生物が奇跡的に残されたこの場所を、観察・学習・体験・いこいの場となる公園として利用することの方が、道路として利用するよりも、長期的にみて、はるかに有益な活用方法です。

5. 道路建設予定地を公園緑地の一部としてどう活用していくかは、(その区域内にすでに出来てしまっている「道路の一部になる予定であった構築物」をふくむ)今後の利用方法や管理の具体化など、行政当局の名古屋市緑政土木局を中心に名古屋市教育委員会・有識者・市民有志などによる専門委員会を設け、そのていねいな検討・結論を待つべきであると考えます。

相生山公園緑地の全体についての計画と併せて検討されるべきものです。

以上の考察により、首記の代替案を提案し、市長裁可のもと関係部署のすみやかな検討をお願いするものです。

8月8日までに、この代替案についてのご回答をお願いいたします。

以上